



平成30年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成29年7月26日

上場会社名 日糧製パン株式会社 上場取引所 札  
 コード番号 2218 URL <http://www.nichiryopan.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 勝彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 北川 由香里 (TEL) 011-851-8188  
 四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の業績 (平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	4,262	△0.1	39	△42.0	47	△36.0	28	△35.4
29年3月期第1四半期	4,265	△1.8	68	△2.7	74	2.9	44	8.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	1.37	—
29年3月期第1四半期	2.12	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	13,050	4,495	34.5
29年3月期	12,782	4,487	35.1

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 4,495百万円 29年3月期 4,487百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	—	—	2.00	2.00
30年3月期	—	—	—	—	—
30年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

※平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施いたします。これに伴い平成30年3月期(予想)の1株当たり配当金につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細は「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

3. 平成30年3月期の業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	9,000	2.2	230	7.4	230	1.8	100	△30.0	4.77
通期	18,000	2.0	400	3.8	400	0.1	180	△25.7	85.93

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施いたします。これに伴い平成30年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮しております。詳細は「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	30年3月期1Q	21,039,480株	29年3月期	21,039,480株
② 期末自己株式数	30年3月期1Q	91,656株	29年3月期	90,989株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	30年3月期1Q	20,948,269株	29年3月期1Q	20,952,219株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(株式併合後の配当及び業績予想について)

当社は、平成29年6月29日開催の第83期定時株主総会において、株式併合につき承認可決を受け、平成29年10月1日を効力発生日として、普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施いたします。これに伴い平成30年3月期末の配当金につきまして、当該株式併合の影響を考慮した金額に修正いたします。

なお、配当予想の修正は、株式併合に伴い1株当たりの配当金額を修正するものであり、配当予想に実質的な変更はありません。また、平成30年3月期の業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、株式併合の影響を考慮して修正しております。株式併合を考慮しない場合の平成30年3月期の配当予想及び業績予想は以下のとおりであります。

1. 平成30年3月期の配当予想 1株当たり配当金 期末 1円50銭
2. 平成30年3月期の業績予想 1株当たり当期純利益 第2四半期(累計) 4円77銭 通期 8円59銭

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期貸借対照表	P. 3
(2) 四半期損益計算書	P. 5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	P. 6
(継続企業の前提に関する注記)	P. 6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 6
(セグメント情報等)	P. 6
(追加情報)	P. 6

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間(平成29年4月1日～平成29年6月30日)におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調で推移しましたが、個人消費の伸びは力強さを欠く状況が続きました。当業界におきましては、消費者の生活防衛意識が依然として強く、販売競争の激化に加え、人手不足に伴う人件費の上昇や燃料・物流コスト上昇の影響もあり、厳しい経営環境となりました。

このような情勢下におきまして、当社は「おいしく、北海道らしく。」の方針のもと、「日糧ベスト70」を中心とした主力製品の品質向上を継続し、安全・安心でお客様に喜ばれる高品質な製品の提供に努めました。「絹艶」、「北の国のベーカリー」、「ラブラブサンド」など主力シリーズ製品の品質訴求や品揃え強化を推進するとともに、6月より2カ月間に亘る「夏のおいしく、北海道らしく。」キャンペーンの活用により、製品配荷店の増加をめざし売上獲得に努めました。また、生産、販売、管理の各部門における業務のさらなる見直しや効率化を進め、継続して経営基盤の強化へ取り組んでまいりました。

製品別の売上状況につきましては、食パン部門は、「絹艶」、「絹艶北海道」が店頭における試食推奨実施により“しっとり、やわらか”な食感を訴求したことで堅調に推移したほか、4月より「あんブレッド(7)」、「牛乳ブレッド(7)」を投入したバラエティ食パンの寄与により売上は順調に推移し、前年同期を上回りました。菓子パン部門は、コッペンタイプのロール類やドーナツ類が伸び悩み、前年同期の売上を下回りましたが、手包み豆パン、しっとりあんぱんなどの「北の国のベーカリー」、「ラブラブサンド」シリーズの取扱拡大をはかったほか、手軽にお召し上がりいただける惣菜パンや季節感を取り入れた製品を積極的に投入し、売上の確保に努めました。和菓子部門は、「チーズ蒸しパン」などの蒸しパン類が伸長し、ロングライフの和生製品が順調に推移するとともに、北海道産原料を使用した「福かまど」シリーズが寄与し、前年同期を上回りました。洋菓子部門は、コンビニエンスストア向け製品の売上が減少し、前年同期の売上を下回りましたが、チルドデザート「きょうのドルチェ」シリーズの展開や、6月に発売30周年を迎えた「チョコブリッコ」をリニューアルするとともに季節限定のレモンフレーバーを投入するなどにより、売上の回復に努めました。調理パン・米飯部門は、量販店向け製品の取扱拡大により好調に推移し、前年同期の売上を上回りました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の業績につきましては、売上高は4,262百万円(対前年同期比99.9%)とほぼ前期並みとなりました。一方、利益面では業務の見直しや効率化に努めましたが、人件費・物流費等のコスト上昇を吸収するには至らず、営業利益は39百万円(対前年同期比58.0%)、経常利益は47百万円(対前年同期比64.0%)、四半期純利益は28百万円(対前年同期比64.6%)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期会計期間末における資産合計は13,050百万円で前事業年度末に対し267百万円増加しました。流動資産は4,583百万円で主に現金及び預金が304百万円、商品及び製品が102百万円増加し、売掛金が86百万円減少した結果、前事業年度末に対し314百万円増加しました。固定資産は8,466百万円で前事業年度末に対し47百万円の減少となりました。負債合計は8,554百万円で主に支払手形及び買掛金が136百万円、長期借入金(1年内返済予定含む)が375百万円増加し、未払法人税等が97百万円、賞与引当金が102百万円減少した結果、前事業年度末に対し259百万円増加しました。純資産合計は4,495百万円で前事業年度末に対し8百万円増加しました。

この結果、当第1四半期会計期間末における自己資本比率は34.5%、1株当たりの純資産は214円60銭となりました。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

今後の見通しといたしましては、わが国経済は、企業収益の改善に加え、雇用・所得環境の改善の下支えもあり、景気は回復基調が続くと予想されますが、先行きは依然として不透明な状況が続くものと思われまます。当業界におきましては、販売競争が続くなか人手不足に伴う人件費の上昇に加え原材料価格・燃料価格の上昇など、厳しい経営環境が継続することが予測されます。

このような情勢下におきまして、当社は、「おいしく、北海道らしく。」の方針のもと、「日糧ベスト70」を中心に主力製品のさらなる品質向上を推進し、安全・安心でお客様に喜ばれる高品質な製品開発に努めてまいります。食パン「絹艶」、菓子パン「北の国のベーカリー」、和菓子「福かまど」など主力シリーズ製品の取扱拡大に注力するとともに、簡便性・健康増進などの付加価値を高めた製品や、季節の素材・北海道産原料を活用した製品など、お客様の多様なニーズを捉えた製品の開発・育成へ取組み、生産・販売の連携強化による製品施策・営業戦略の展開により売上拡大をはかり、各部門における一層の業務効率化を継続して推し進め、業績向上に向けて努力してまいります。

なお、平成30年3月期第2四半期累計期間および平成30年3月期通期に関する業績予想につきましては、平成29年5月12日に公表した内容から変更はありません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,895,773	2,200,758
受取手形及び売掛金	1,988,304	1,902,140
商品及び製品	41,461	143,891
仕掛品	41,394	51,155
原材料及び貯蔵品	140,526	153,624
繰延税金資産	83,376	65,124
その他	80,128	68,543
貸倒引当金	△2,039	△1,554
流動資産合計	4,268,925	4,583,684
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,449,574	1,439,134
機械及び装置(純額)	1,326,196	1,277,510
土地	4,662,405	4,662,405
その他(純額)	205,141	199,495
有形固定資産合計	7,643,318	7,578,545
無形固定資産		
その他	112,564	104,882
無形固定資産合計	112,564	104,882
投資その他の資産		
投資有価証券	545,970	577,813
投資不動産(純額)	74,938	74,938
繰延税金資産	86,682	81,403
その他	49,980	48,748
貸倒引当金	△23	△11
投資その他の資産合計	757,548	782,892
固定資産合計	8,513,431	8,466,320
資産合計	12,782,356	13,050,004

(単位：千円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,969,053	2,105,873
短期借入金	750,000	750,000
1年内返済予定の長期借入金	493,392	505,156
未払法人税等	112,339	15,117
賞与引当金	215,537	112,645
その他	1,038,570	979,679
流動負債合計	4,578,892	4,468,472
固定負債		
長期借入金	919,192	1,283,330
再評価に係る繰延税金負債	1,190,579	1,190,579
退職給付引当金	1,536,962	1,552,979
役員退職慰労引当金	67,623	57,179
その他	1,800	2,050
固定負債合計	3,716,156	4,086,118
負債合計	8,295,049	8,554,590
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,051,974	1,051,974
利益剰余金	546,526	533,320
自己株式	△11,490	△11,639
株主資本合計	1,587,009	1,573,654
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	205,956	227,419
土地再評価差額金	2,694,340	2,694,340
評価・換算差額等合計	2,900,297	2,921,759
純資産合計	4,487,306	4,495,414
負債純資産合計	12,782,356	13,050,004

## (2) 四半期損益計算書

第1四半期累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	4,265,364	4,262,875
売上原価	3,038,010	3,023,775
売上総利益	1,227,353	1,239,099
販売費及び一般管理費		
販売費	963,117	985,199
一般管理費	195,899	214,253
販売費及び一般管理費合計	1,159,016	1,199,453
営業利益	68,336	39,646
営業外収益		
受取配当金	6,854	7,732
受取賃貸料	2,698	2,739
その他	2,191	2,784
営業外収益合計	11,744	13,256
営業外費用		
支払利息	6,047	5,555
その他	0	0
営業外費用合計	6,047	5,555
経常利益	74,033	47,347
特別利益		
固定資産売却益	964	-
特別利益合計	964	-
特別損失		
固定資産除却損	2,194	791
特別損失合計	2,194	791
税引前四半期純利益	72,803	46,555
法人税等	28,376	17,864
四半期純利益	44,426	28,691

## (3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、食品関連事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(追加情報)

株式併合及び単元株式数の変更等について

当社は、平成29年6月29日開催の第83期定時株主総会において、株式併合に係る議案並びに単元株式数及び発行可能株式総数の変更に係る定款変更議案が承認可決されております。これに伴い、同年10月1日を効力発生日として、単元株式数を1,000株から100株へ変更し、普通株式10株につき1株の割合で株式併合するとともに、発行可能株式総数を84,000,000株から8,400,000株に変更いたします。

## 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式併合が前事業年度の期首に実施されたと仮定された場合の、前第1四半期累計期間及び当第1四半期累計期間における1株当たりの情報は以下のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
1株当たり四半期純利益金額	21円20銭	13円70銭

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。